

＜自己資金検討ワーキンググループにおける論点＞

資料 2

1. 自己資金獲得の前提

- 自己資金獲得は日本学術会議の自律的で柔軟な活動強化に資する。
- 一方で、自己資金の獲得の導入には、学術の独立性・中立性、さらには分野の多様性の尊重が不可欠である。

2. 検討事項

- **自己資金獲得における学術の多様性・バランスへの配慮**
三部構成の学術会議としての責任、会員選考・活動機会の公平性、海外の事例
- **自己資金獲得に関する基本原則・ルール**
 - ・自己資金の獲得・受入れ・執行の審査
 - ・利益相反（COI）開示
- **具体的な資金獲得方法と分野横断的活用の仕組み**
（案）・公益性・学術振興性の高い財団・団体からの助成金・寄附
 - ・学会・大学・研究機関等からの共催費・拠出金
 - ・個人・法人の一般寄附
 - ・シンポジウム・公開講座等イベント事業収入
 - ・政府機関・自治体からの調査委託・政策提言プロジェクト資金
 - ・国際連携・国際共同研究プロジェクト資金
 - ・企業等からの協賛金
 - ・論文誌（学術ジャーナル）の発行・出版事業収入